

# あま市巡回バスのあり方を定める指標の決定について

あま市巡回バスの試行運行は、平成 33 年 3 月 31 日までを基本としております。

試行運行後のあま市巡回バスのあり方を協議する際に、参考とする指標を決定していただくため、平成 30 年度の会議では指標項目について協議していただきます。

また、指標項目の目標数値を平成 31 年 9 月頃までに決定し、その達成状況をもとに平成 32 年度中に試行運行後のあま市巡回バスのあり方を協議する予定です。

なお、指標項目の数値を調査するため、平成 30 年 12 月にアンケートを実施する予定です。

## 1 前提条件

### (1) あま市における関連計画

市の最上位計画に当たる第 1 次あま市総合計画においては、「安全が確保され、安心して快適に暮らせるまち」を基本目標として定め、「交通網が整備された安全で快適なまちをつくる」を施策の大綱として位置付けております。また、あま市都市計画マスタープランにおいても「道路・交通に関する方針」の基本方針として「どこへでも、安全・快適に移動できる環境をつくる」とし、各拠点を結ぶ動線として公共交通軸が明記されています。

さらに、平成 29 年 3 月に策定されたあま市公共施設等総合管理計画においては、公共サービスの継続や財政健全化を図るために、公共建築物の延床面積の約 25% を削減する必要があると明記されており、施設の統廃合等が行われていくことから、市民の生活を支える足としての公共交通ネットワークが必要となってきます。

### (2) あま市巡回バス

#### ① 背景

あま市巡回バスは、あま市地域公共交通会議での議論を経て、平成 27 年 11 月 22 日から「公共施設」、「公共交通機関」、「市民病院」、「商業施設」をコンパクトに結ぶ「西部巡回ルート」及び「東部巡回ルート」の 2 路線で試行運行を開始しました。

その後、「利用状況」、「市民アンケート」、「意見交換会」、「利用者座談会」、「市内の年齢別人口分布」などから状況等を整理し、平成 29 年 10 月 31 日からは「北部巡回ルート」、「南部巡回ルート」及び「東部巡回ルート」の 3 路線で試行運行を行っております。

試行運行の期間は平成 32 年度末までを基本としております。

#### ② 運行目的

移動に困っている高齢者等の日常生活を支えるために運行を行っております。

## ③ 路線

各路線の状況については、以下の通り。

路線	運行距離	運行時間	停留所数	運行上の停留所数	延べ利用者数※
北部巡回ルート	25,900m	90分	36ヶ所	42ヶ所	2,461人
南部巡回ルート	23,900m	80分	42ヶ所	46ヶ所	3,325人
東部巡回ルート	17,500m	65分	20ヶ所	21ヶ所	1,058人

※平成30年9月30日現在

## 2 指標項目の検討

指標項目は、平成30年度中に協議を整える予定をしております。

また、指標項目は、試行運行後のあま市巡回バスのあり方を判断する材料となるものであり、指標項目の数値が比較的容易に調査できるものとします。

<事務局（素案）>

指標項目		9月末現在	左記算出方法
公共交通	認知度	79.1%	H28年度アンケート結果
	施策としての市民の理解	50.6%	H28年度アンケート結果
想定利用者	高齢者数（65歳以上）	23,211人	住民基本台帳
	高齢者率	26.1%	住民基本台帳
	無料乗車券発行枚数	553枚 103枚 62枚	75歳以上 障がい者 運転免許証自主返納者
利用状況	平均利用者数 （1便当り）	4.2人 5.7人 1.8人	北部巡回ルート 南部巡回ルート 東部巡回ルート
	1日当りの利用者数 （平均成長率）	-2.64%	新ルート運行開始時から
	利用率	1.4%	H28年度アンケート結果
運行事業費	収支率	0.7%	平成30年度
	一人当りの輸送費用	3,188円	平成29年度 （運行経費－運賃収入）÷利用者数
	市民一人当りの経費負担額	343円	平成29年度 運行経費÷人口
他の移動手段	福祉有償運送利用者数 （登録者数・述べ利用者数）	11名・〇名 〇名・3名	地域人権ゆうあい会 ひとまち生活ネット津島
	移動援助サービス事業 （平成29年10月開始）	12件 31人	登録件数 延べ利用者数

